

# 平成 30 年度 第 3 期 実務実習連絡会議

平成 31 年 4 月 13 日 (土)

城西大学

## — 目次 —

1.	平成 30 年度 3 期実習施設数および学生数	3
2.	平成 30 年度 3 期実習管理方法（実習日誌作成方法）	3
3.	実習実施薬局（53 施設）	4
4.	実習実施病院（38 施設）	5
5-1	薬局実習の形成的評価 学生と指導薬剤師の比較	6
2	学生の自己評価と指導薬剤師の評価に差がある LS	7
3	薬局実習の形成的評価 H26～H30 年度の各 3 期「学生の自己評価」推移	8
4	薬局実習の形成的評価 H26～H30 年度の各 3 期「指導薬剤師の評価」推移	9
5	薬局実習 SB0 達成率および施設間格差（平成 30 年度 3 期）	10
6-1	病院実習の形成的評価 学生と指導薬剤師の比較	11
2	学生の自己評価と指導薬剤師の評価に差がある LS	12
3	病院実習の形成的評価 H26～H30 年度の各 3 期「学生の自己評価」推移	13
4	病院実習の形成的評価 H26～H30 年度の各 3 期「指導薬剤師の評価」推移	14
5	病院実習 SB0 達成率および施設間格差（平成 30 年度 3 期）	15
7-1	平成 30 年度 3 期成績分布	16
2	平成 22 年度から平成 30 年度各 3 期の成績比較	17
8-1	実習態度（平成 30 年度 3 期）	18
2	実習態度推移（平成 22 年度から平成 30 年度の各 3 期の比較）	19
3	減点の多い学生の詳細な成績（平成 30 年度 3 期 薬局）	20
4	減点の多い学生の詳細な成績（平成 30 年度 3 期 病院）	21
9.	実習中のトラブル事例（平成 30 年度 3 期）	22

## 1. 平成 30 年度 3 期実習施設数および学生数

	病院	薬局	合計
実習施設数	38	53	91
実習開始学生数	76	58	134
実習不可学生数	0	0	0
実習態度チェック票集計数	76	58	134

## 2. 平成 30 年度 3 期実習管理方法（実習日誌作成方法）

	病院	薬局	合計	web利用率
手書き施設数	0	0	0	100%
ウェブ利用施設数	38	53	100	
手書き学生数	0	0	0	100%
ウェブ利用学生数	76	58	134	

### 3. 実習実施薬局（53 施設）

(有) 光和薬局
アイン茅野薬局
あおぞら薬局清水町店
あおぞら薬局長瀬店
あおぞら薬局藤金店
青葉薬局
あさひ調剤薬局中央店
薬局アポック三芳店
アポック毛呂岩井薬局
アルル薬局
いずみ薬局
おがの薬局
オレンジ薬局上野本店
クオール薬局あらじゅく店
クオール薬局ユーカリ店
クオール薬局ララ 2 号店
クオール薬局羽生中央店
クオール薬局西宮下店
クオール薬局川越今福店
クオール薬局大船 1 号店
グリーン薬局
けやき薬局千住店
ケン調剤薬局
サイトウ薬局北浦和駅前店
サン薬局（江東区）
サン薬局（越谷市）
城西大学薬局
城西大学薬局毛呂本郷店
そうごう薬局亀戸駅前店
中央薬局
中央薬局村上市
つばさ薬局（東松山市）
トーア薬局
とまと薬局（東松山市）
外山薬局南砂支店
なごみ薬局
日本調剤浦安中央薬局
ハルビ薬局

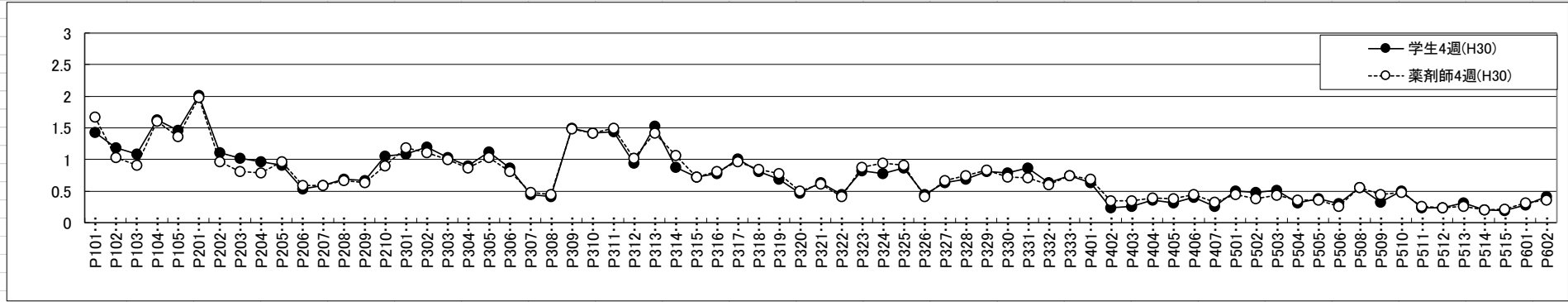
ひかり薬局（川越市）
ひばり薬局花園店
ファーコス薬局高松店
プライム薬局亀有店
望星大磯薬局
ぽらりす薬局
まい薬局未来堂
みさき薬局
みどり薬局日の出
ゆかり薬局
ユニコ調剤薬局
よこて薬局
よつば薬局
街の薬局
寄居薬剤師会薬局

#### 4. 実習実施病院（38 施設）

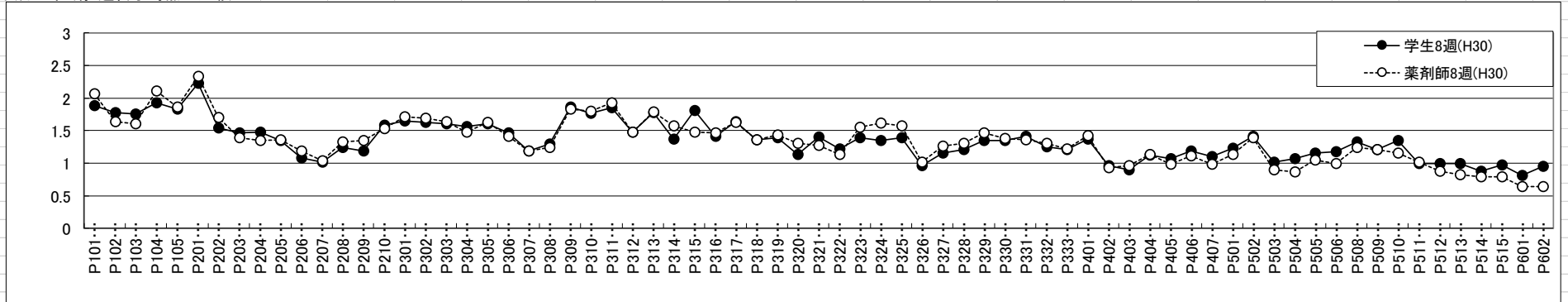
青梅市立総合病院
小川赤十字病院
医療法人直心会 帯津三敬病院
医療法人光仁会 春日部厚生病院
医療法人高仁会 川口病院
川口市立医療センター
埼玉県済生会川口総合病院
新都市医療研究会関越会 関越病院
公立学校共済組合 関東中央病院
社会福祉法人恩賜財団済生会埼玉県済生会栗橋病院
群馬大学医学部附属病院
社会医療法人社団 江東病院
埼玉県立循環器呼吸器病センター
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
独立行政法人国立病院機構 埼玉病院
埼玉医科大学病院
埼玉医科大学総合医療センター
埼玉医科大学国際医療センター
埼玉県立小児医療センター
社会福祉法人 シナプス 埼玉精神神経センター
社会医療法人刀仁会 坂戸中央病院
自治医科大学附属さいたま医療センター
医療法人秀和会 秀和総合病院
医療法人聖仁会 西部総合病院
社会福祉法人聖母会 聖母病院
セコメディック病院
医療法人慈桜会 瀬戸病院
千葉市立青葉病院
東京都済生会中央病院
東京都立小児総合医療センター
医療法人社団幸悠会 所沢慈光病院
新座志木中央総合病院
埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院
医療法人社団協友会 東川口病院
公益法人東松山医師会 東松山医師会病院
社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院
特定医療法人社団 堀ノ内病院
水戸赤十字病院

# 5-1 薬局実習の形成的評価 学生と指導薬剤師の比較

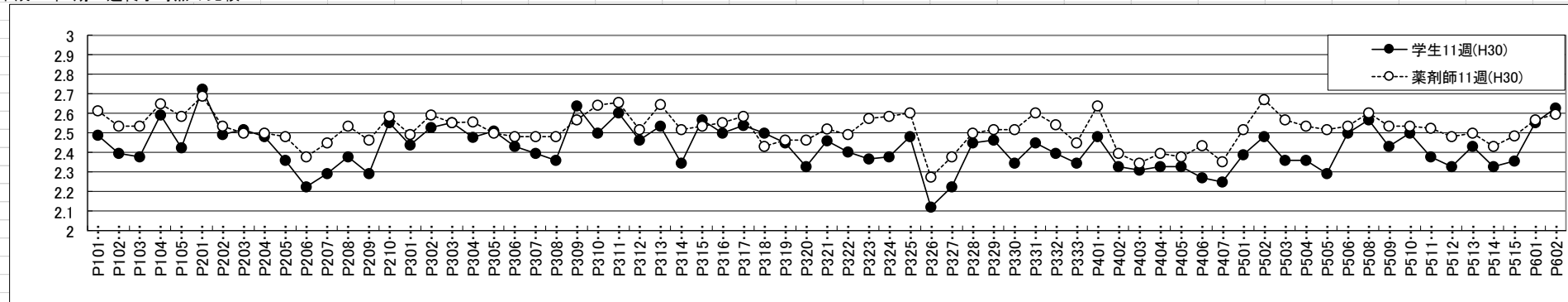
平成30年3期4週終了時点の比較



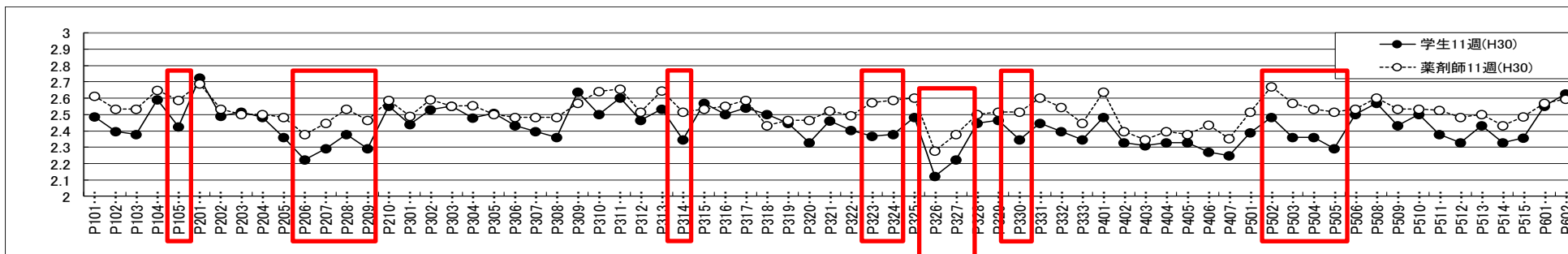
平成30年3期8週終了時点の比較



平成30年3期11週終了時点の比較



## 5-2 学生の自己評価と指導薬剤師の評価に差があるLS

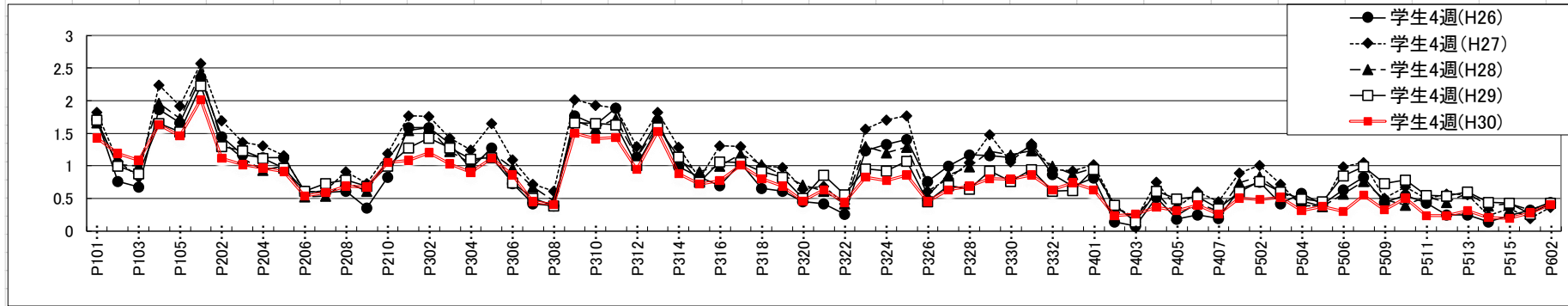


### 学生の自己評価より指導薬剤師の評価が高いLS

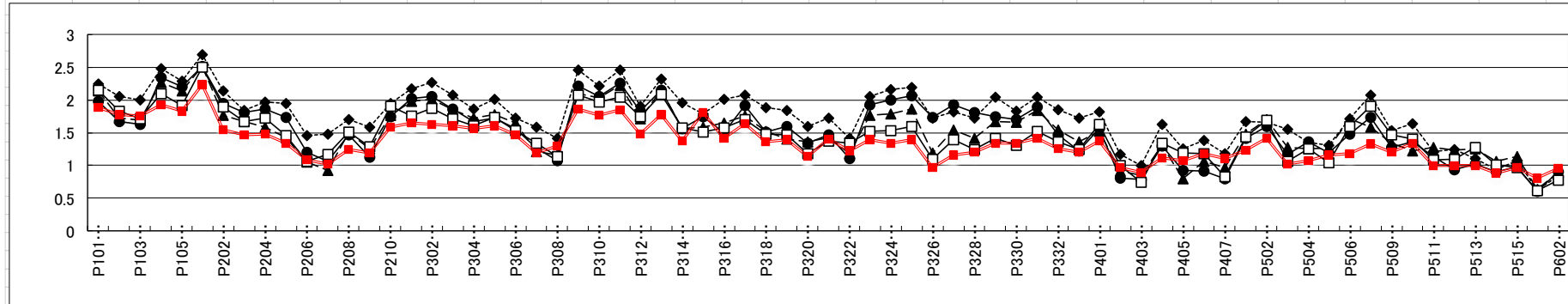
学生-薬剤師	LS	LS内容	学生11週
-0.224	P505	当該地域での居宅介護、介護支援専門員などの医療福祉活動の状況を把握できる。(知識・技能)	2.29
-0.207	P323	調剤録の法的規制について説明できる。調剤録への記入事項について説明できる。調剤録の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。	2.37
-0.207	P324	調剤後の処方せんへの記入事項について説明できる。	2.38
-0.207	P503	病院薬剤師と薬局薬剤師の連携の重要性を説明できる。	2.36
-0.190	P502	薬剤師が在宅医療に関わることの意義を指導薬剤師と話し合う。(態度)	2.48
-0.172	P209	入手した患者情報を、必要に応じ、適正な手続きを経て他の医療従事者に提供できる。(技能・態度)	2.29
-0.172	P314	毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬などの調剤と取り扱いができる。(技能)特別な注意を要する医薬品(抗悪性腫瘍薬など)の取り扱いを体験する。(技能)	2.34
-0.172	P330	特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、抗糖尿病薬など)を列挙できる。	2.34
-0.172	P504	当該地域における休日、夜間診療と薬剤師の役割を説明できる。	2.36
-0.164	P406	顧客が自らすすんで話ができるように工夫する。(技能・態度)顧客が必要とする情報を的確に把握する。(技能・態度)顧客との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集できる。(技能・態度)入手した情報を評価し、顧客に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)	2.27
-0.161	P105	麻薬、向精神薬などの規制医薬品の取り扱いについて説明できる。毒物、劇物の取り扱いについて説明できる。法的な管理が義務付けられている医薬品(麻薬、向精神薬、劇薬、毒薬、特定生物由来製剤など)を挙げ、その保管方法を見学し、その意義について考察する。(態度)	2.43
-0.155	P206	問い合わせに対し、根拠に基づいた論理的な報告書を作成できる。(知識・技能)	2.22
-0.155	P326	調剤報酬を算定し、調剤報酬明細書(レセプト)を作成できる。(技能)	2.12
-0.155	P327	薬剤師の技術評価の対象について説明できる。	2.22

### 5-3 薬局実習の形成的評価 H26~H30 年度の各 3 期「学生の自己評価」推移

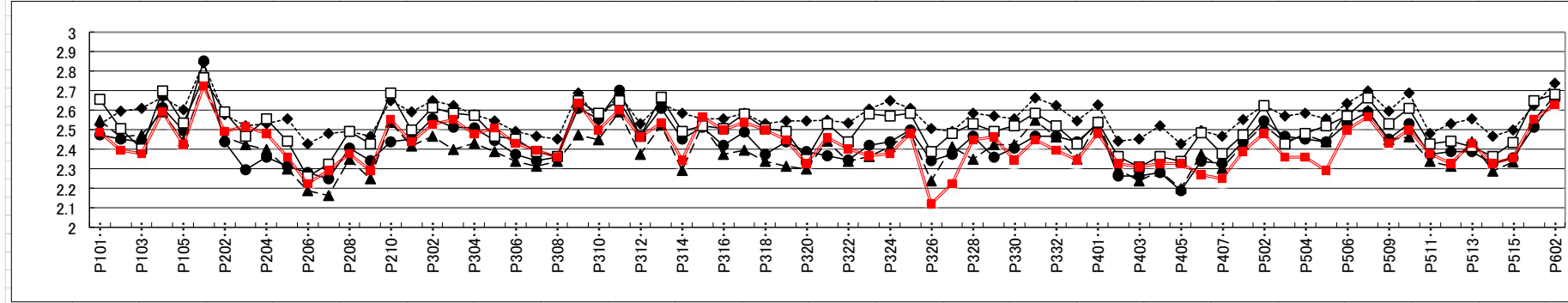
3期の4週終了時点の比較 (H26-30)



3期の8週終了時点の比較 (H26-30)



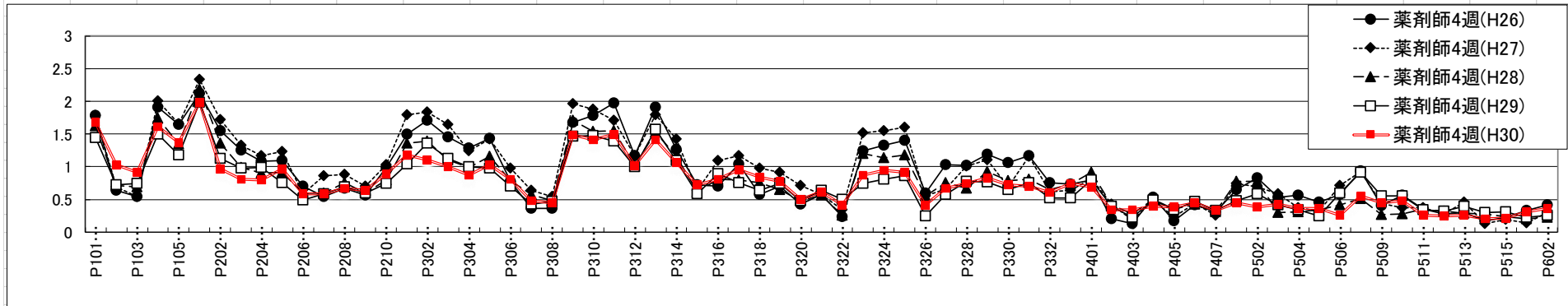
3期の11週終了時点の比較 (H26-30)



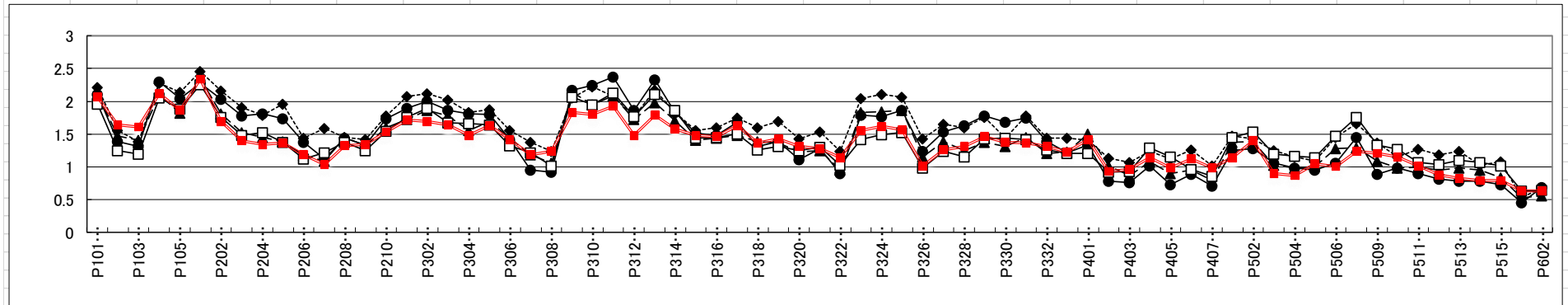


## 5-4 薬局実習の形成的評価 H26~H30 年度の各3期「指導薬剤師の評価」推移

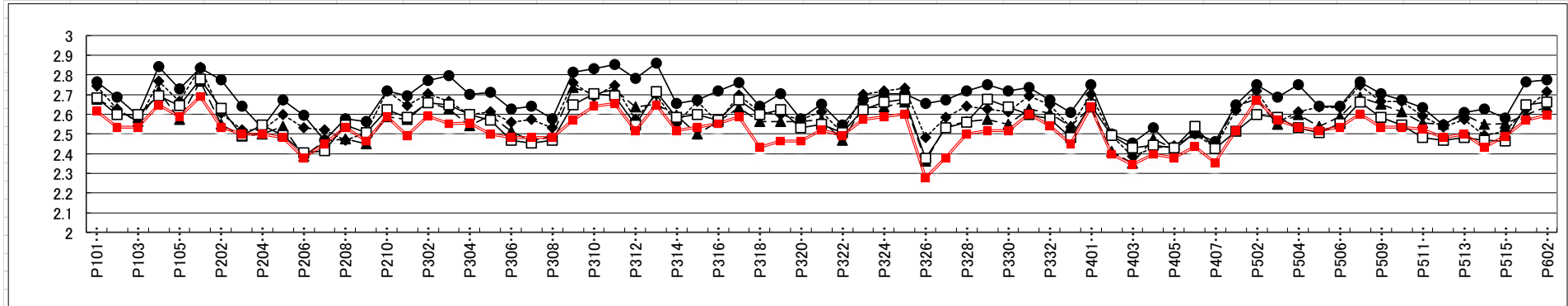
3期の4週終了時点の比較 (H26-30)



3期の8週終了時点の比較 (H26-30)



3期の11週終了時点の比較 (H26-30)

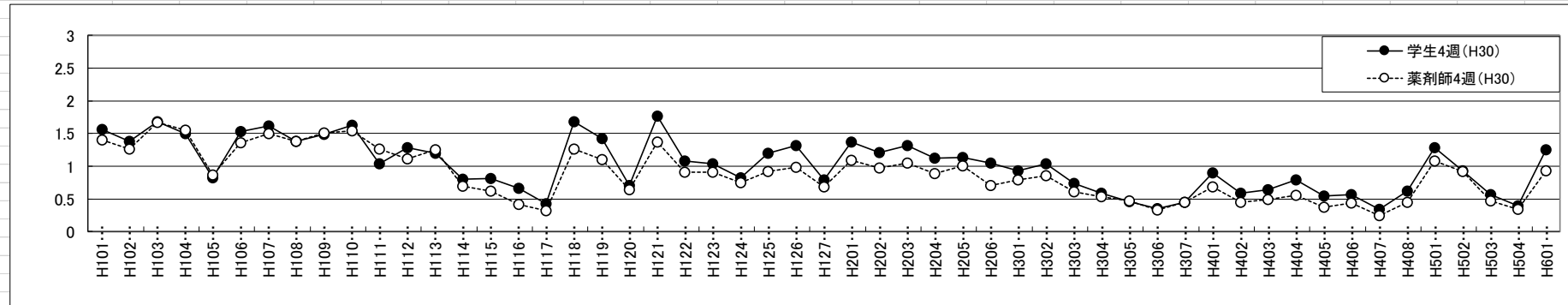


## 5-5 薬局実習 SBO 達成率および施設間格差（平成 30 年度 3 期）

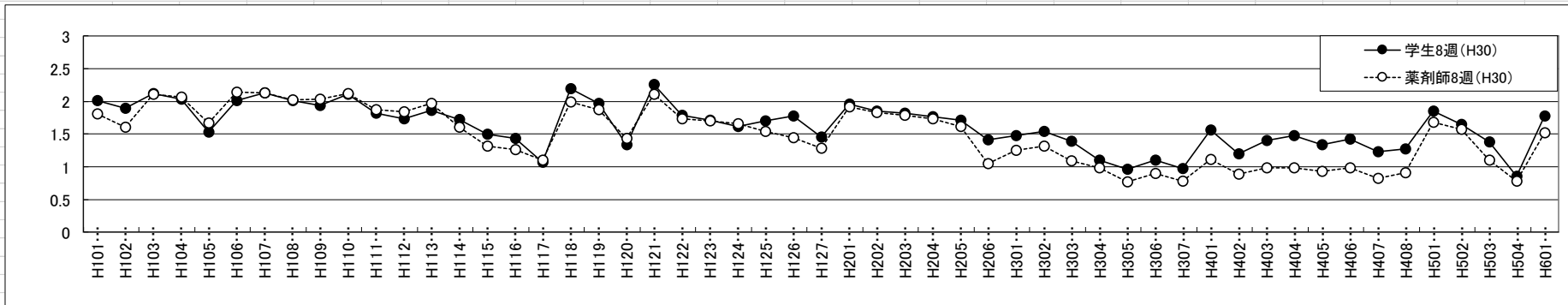
SBO	LS	SBOの内容	低達成率(順位)		施設間格差(順位)	
			学生	薬剤師	学生	薬剤師
19	P206-1	問い合わせに対し、根拠に基づいた論理的な報告書を作成できる。(知識・技能)	2	6	8	
22	P209-1	入手した患者情報を、必要に応じ、適正な手続きを経て他の医療従事者に提供できる。(技能・態度)			2	
48	P310-9	代表的な医薬品を色・形、識別コードから識別できる。(技能)	7			
55	P314-2	特別な注意を要する医薬品（抗悪性腫瘍薬など）の取り扱いを体験する。(技能)	3		3	
67	P321-4	お薬手帳、健康手帳を使用した服薬指導ができる。(技能)				10
71	P322-4	患者との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集し、必要に応じて対処法を提案する。(技能・態度)			10	8
78	P326-1	調剤報酬を算定し、調剤報酬明細書（レセプト）を作成できる。(技能)	1	1	1	2
79	P327-1	薬剤師の技術評価の対象について説明できる。	4	7	9	
90	P403-1	医師への受診勧告を適切に行うことができる。(技能・態度)		3	5	3
92	P405-1	顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。		8		
93	P406-1	顧客が自らすすんで話ができるように工夫する。(技能・態度)	8			
94	P406-2	顧客が必要とする情報を的確に把握する。(技能・態度)				9
96	P406-4	入手した情報を評価し、顧客に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)	9	9		1
97	P407-1	疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる。(技能・態度)	10	10		6
98	P407-2	セルフメディケーションのための一般用医薬品・医療用具などを適切に選択・供給できる。(技能)		5		5
99	P407-3	医師への受診勧告を適切に行うことができる。(技能・態度)	5	2	6	7
100	P407-4	患者・顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。	6	4	7	4
106	P505-1	当該地域での居宅介護、介護支援専門員などの医療福祉活動の状況を把握できる。(知識・技能)			4	

## 6-1 病院実習の形成的評価 学生と指導薬剤師の比較

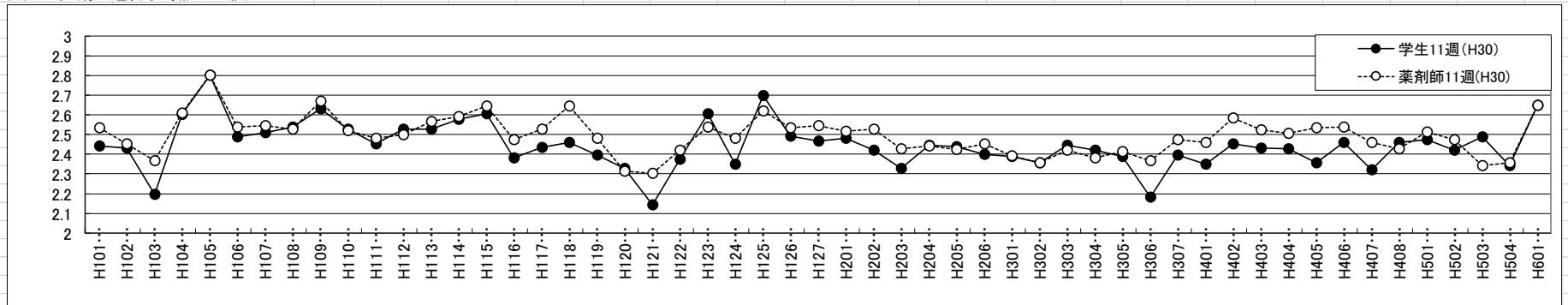
平成30年3期4週終了時点の比較



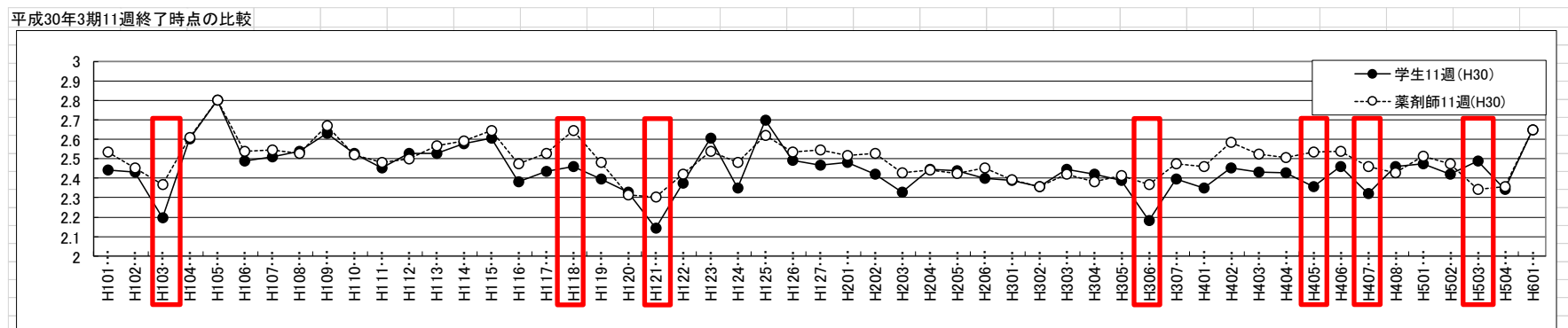
平成30年3期8週終了時点の比較



平成30年3期11週終了時点の比較



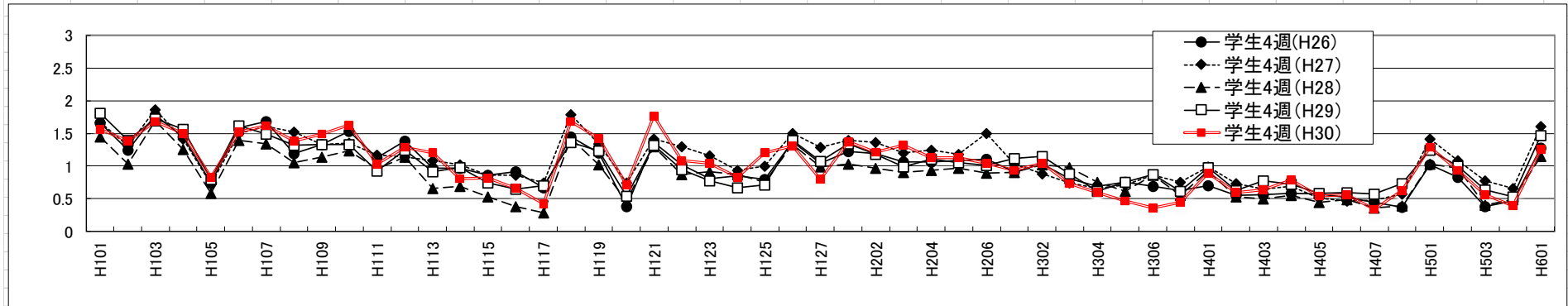
## 6-2 学生の自己評価と指導薬剤師の評価に差があるLS



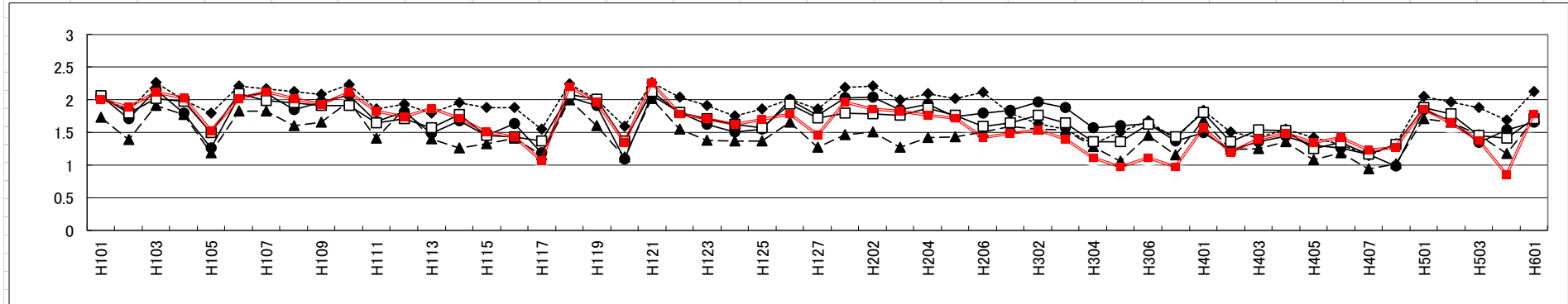
学生- 薬剤師	LS	LS 内容	学生平均
-0.18	H118	注射剤調剤の流れを概説できる。	2.46
-0.18	H306	患者のニーズに合った情報の収集、加工および提供を体験する。(技能・態度)	2.18
-0.18	H405	医師の治療方針を理解したうえで、患者への適切な服薬指導を体験する。(技能・態度) 患者の薬に対する理解を確かめるための開放型質問方法を実施する。(技能・態度) 薬に関する患者の質問に分かり易く答える。(技能・態度)	2.36
-0.17	H103	処方せん(麻薬、注射剤を含む)の形式、種類および記載事項について説明できる。	2.20
-0.16	H121	処方せんの記載に従って正しく注射剤の取りそろえができる。(知識・技能)	2.14
-0.14	H407	期待する効果が現れていないか、あるいは不十分と思われる場合の対処法について提案する。(知識・技能) 副作用が疑われる場合の適切な対処法について提案する。(知識・態度)	2.32
-0.13	H402	医療スタッフが日常使っている専門用語を適切に使用できる。(技能) 病棟において医療チームの一員として他の医療スタッフとコミュニケーションする。(技能・態度)	2.45
-0.13	H124	細胞毒性のある注射剤の調剤について説明できる。特別な注意を要する注射剤(抗悪性腫瘍薬など)の取扱いを体験する。(技能)	2.35
-0.11	H401	病棟業務における薬剤師の業務(薬剤管理、与薬、リスクマネジメント、供給管理など)を概説できる。薬剤師の業務内容について、正確に記録を取り、報告することの目的を説明できる。	2.35
-0.11	H202	医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を説明できる。	2.42
0.07	H123	毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬などの注射剤の調剤と適切な取扱いができる。(技能)	2.61
0.08	H125	調剤された注射剤に対して、正しい鑑査の実務を体験する。(技能)	2.70
0.14	H503	実際の患者例に基づきTDMのデータを解析し、薬物治療の適正化について討議する。(技能・態度)	2.49

### 6-3 病院実習の形成的評価 H26～H30年度の各3期「学生の自己評価」推移

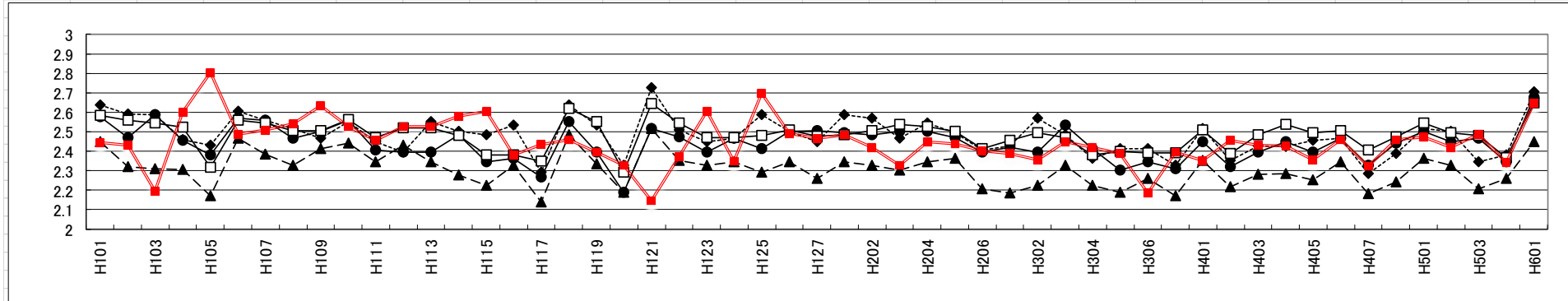
3期の4週終了時点の比較(H26-30)



3期の8週終了時点の比較(H26-30)

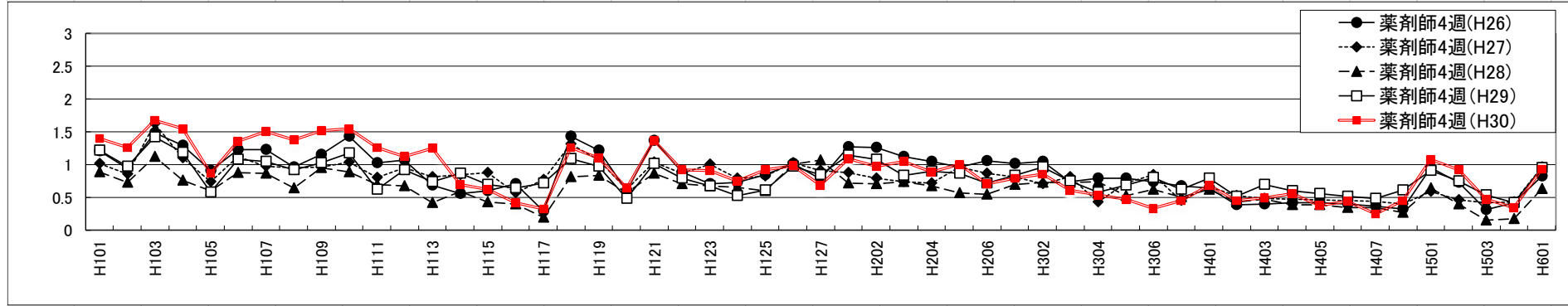


3期の11週終了時点の比較(H26-30)

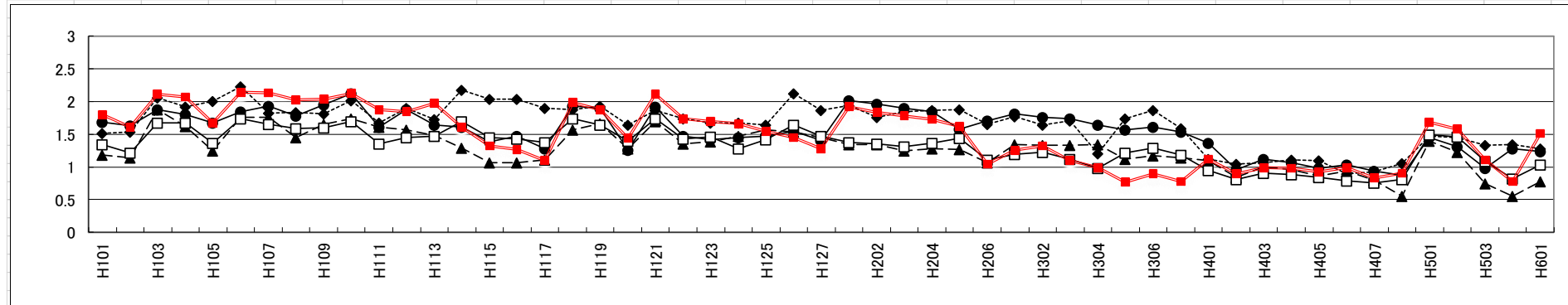


## 6-4 病院実習の形成的評価 H26~H30年度の各3期学生の「指導薬剤師の評価」推移

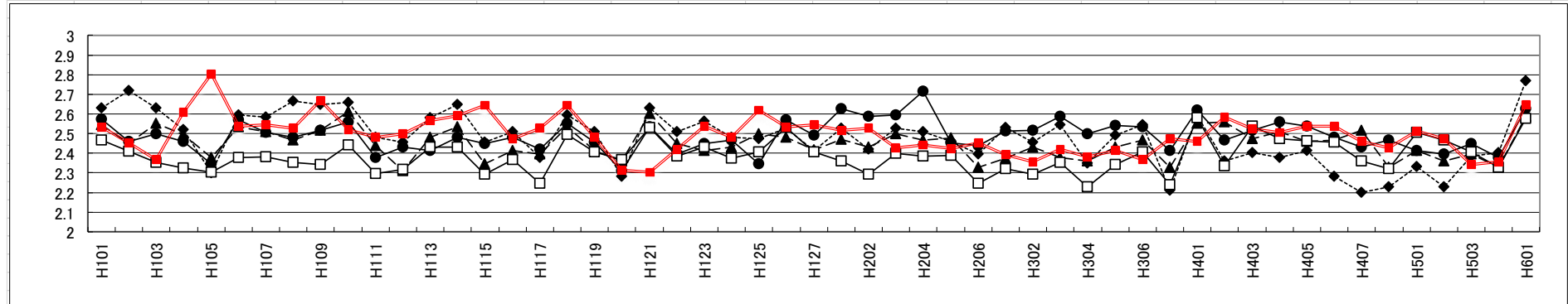
3期の4週終了時点の比較 (H26-30)



3期の8週終了時点の比較 (H26-30)



3期の11週終了時点の比較 (H26-30)



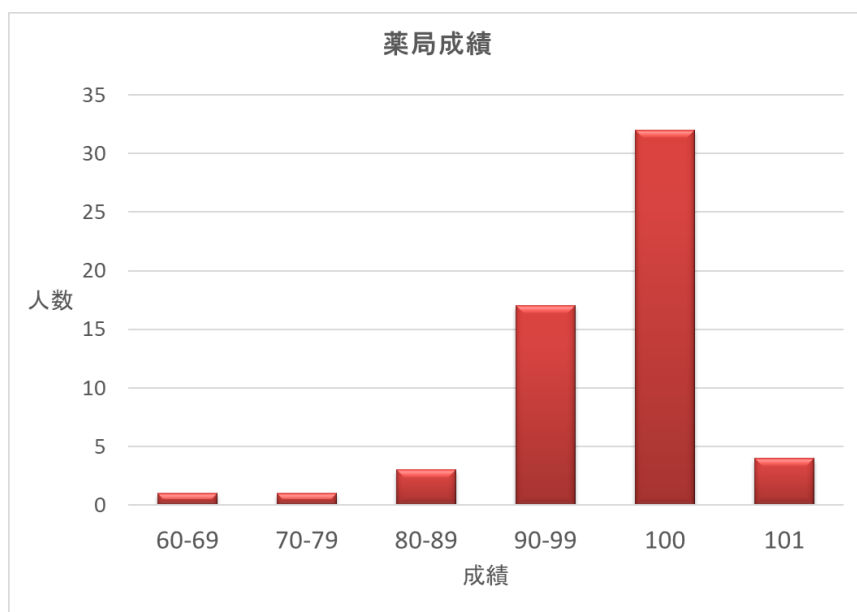
6-5 病院実習 SBO 達成率および施設間格差（平成 30 年度 3 期）

SBO	LS	SBO の内容	低達成率(順位)		施設間格差(順位)	
			学生	薬剤師	学生	薬剤師
1	H101(1)	患者の診療過程に同行し、その体験を通して診療システムを概説できる。			6	
10	H103(3)	処方せん（麻薬、注射剤を含む）の形式、種類および記載事項について説明できる。	4	9	9	3
11	H104(4)	△ 処方せんの記載事項（医薬品名、分量、用法・用量など）が整っているか確認できる。	9			
20	H107(7)	△ 代表的な医薬品を色・形、識別コードから識別できる。（技能）	10		10	
34	H116(16)	△ 自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる。				10
40	H120(20)	適切な疑義照会の実務を体験する。（技能）		3		
41	H121(21)	処方せんの記載に従って正しく注射剤の取りそろえができる。（知識・技能）	2	2	5	
42	H122(22)	注射剤（高カロリー栄養輸液など）の混合操作を実施できる。（技能）	1	1	3	
46	H124(24)	特別な注意を要する注射剤（抗悪性腫瘍薬など）の取扱いを体験する。（技能）	7		4	9
53	H127(27)	△ 職務上の過失、過誤を未然に防ぐための方策を提案できる。（態度）				2
60	H203(30)	△ 同一商品名の医薬品に異なった規格があるものについて具体例を列举できる。	6		2	8
67	H206(33)	医薬品の採用と使用中止の手続きを説明できる。			7	
73	H302(35)	△ 医薬品の基本的な情報を、文献、MR（医薬情報担当者）などの様々な情報源から収集できる。（技能）		5		
77	H305(38)	医療スタッフのニーズに合った情報提供を体験する。（技能・態度）		6		5
78	H306(39)	患者のニーズに合った情報の収集、加工および提供を体験する。（技能・態度）	3	10	1	
81	H401(41)	薬剤師の業務内容について、正確に記録をとり、報告することの目的を説明できる。	8	7		6
93	H405(45)	薬に関する患者の質問に分かり易く答える。（技能・態度）	5		8	
105	H502(50)	無菌製剤の必要性を理解し、以下に例示する製剤のいずれかを調製できる。 （点眼液、注射液など）（技能）				1
106	H503(51)	実際の患者例に基づき TDM のデータを解析し、薬物治療の適正化について討議する。 （技能・態度）		4		4
107	H504(52)	薬物中毒患者の中毒原因物質の検出方法と解毒方法について討議する。（知識、態度）		8		7

## 7-1 平成 30 年度 3 期成績分布

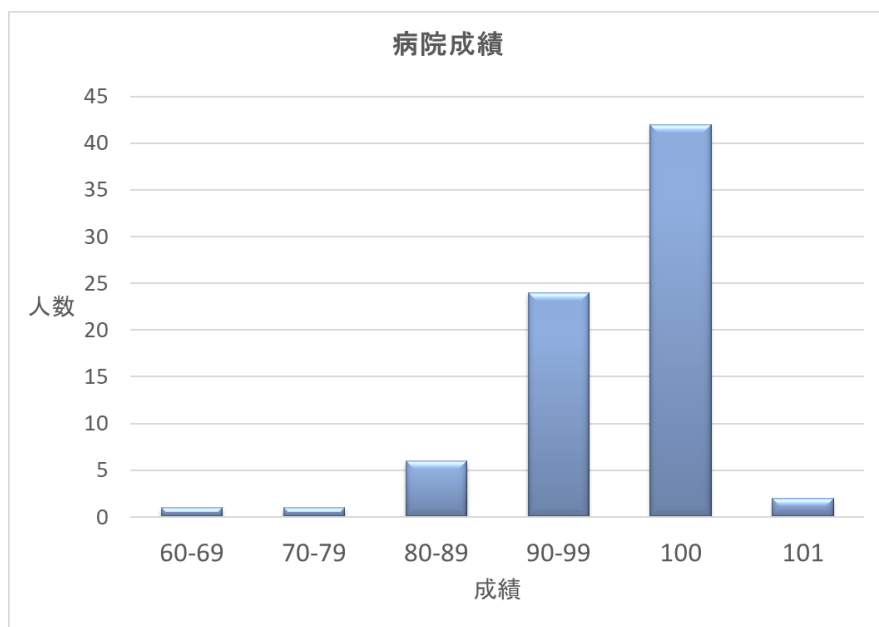
### 薬局

成績	人数	%
60-69	1	1.7%
70-79	1	1.7%
80-89	3	5.2%
90-99	17	29.3%
100	32	55.2%
101	4	6.9%
合計	58	100%



### 病院

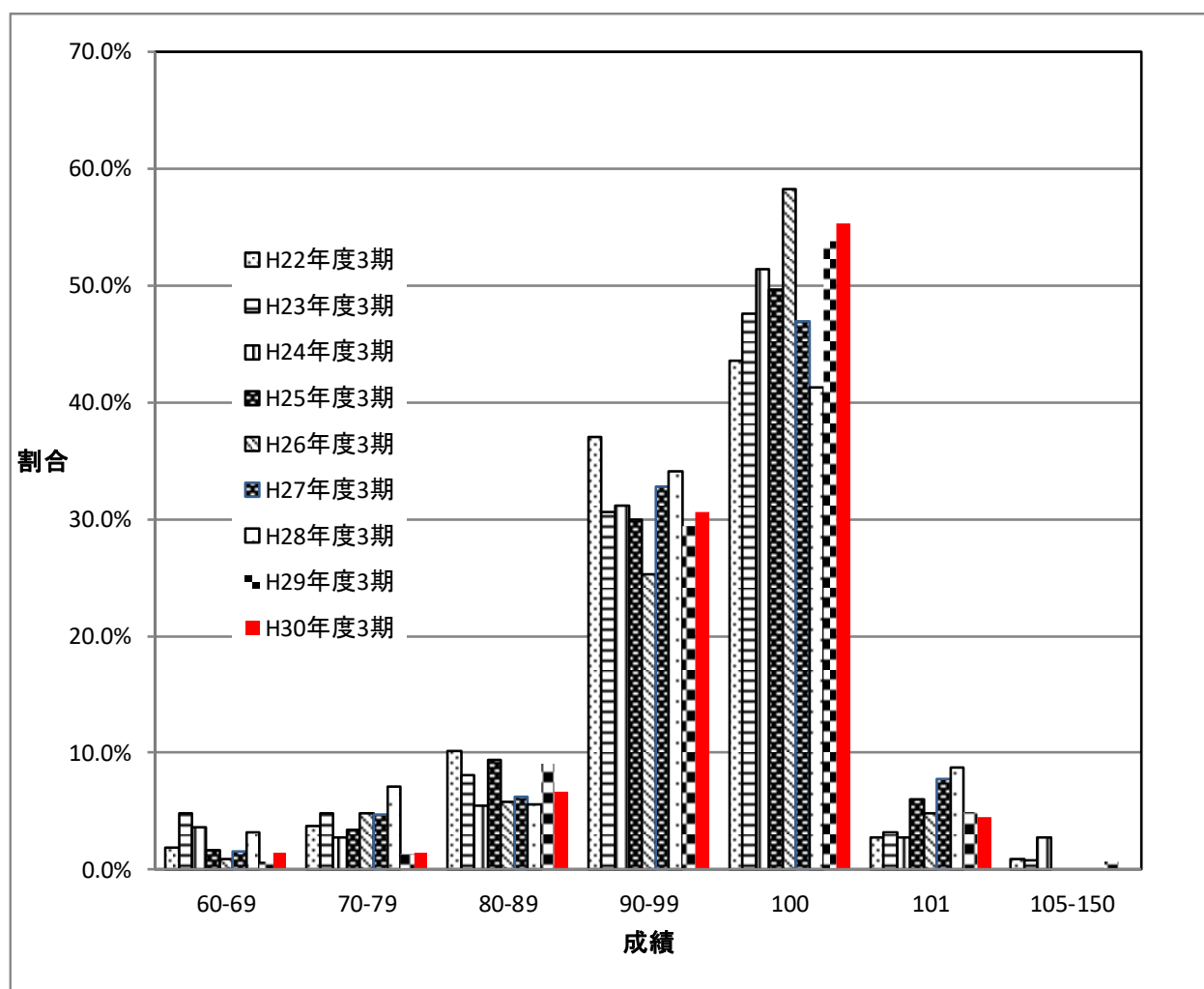
成績	人数	%
60-69	1	1.3%
70-79	1	1.3%
80-89	6	7.9%
90-99	24	31.6%
100	42	55.3%
101	2	2.6%
合計	76	100%





## 7-2 平成 22 年度から平成 30 年度の各 3 期の成績比較（薬局+病院）

成績	H22-3	H23-3	H24-3	H25-3	H26-3	H27-3	H28-3	H29-3	H30-3
60 未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60-69	1.9%	4.8%	3.7%	1.7%	1.0%	1.6%	3.2%	0.7%	1.5%
70-79	3.7%	4.8%	2.8%	3.4%	4.9%	4.7%	7.1%	1.4%	1.5%
80-89	10.2%	8.1%	5.5%	9.4%	5.8%	6.3%	5.6%	9.1%	6.7%
90-99	37.0%	30.6%	31.2%	29.9%	25.2%	32.8%	34.1%	29.4%	30.6%
100	43.5%	47.6%	51.4%	49.6%	58.3%	46.9%	41.3%	53.8%	55.2%
101	2.8%	3.2%	2.8%	6.0%	4.9%	7.8%	8.7%	4.9%	4.5%
102-150	0.9%	0.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%



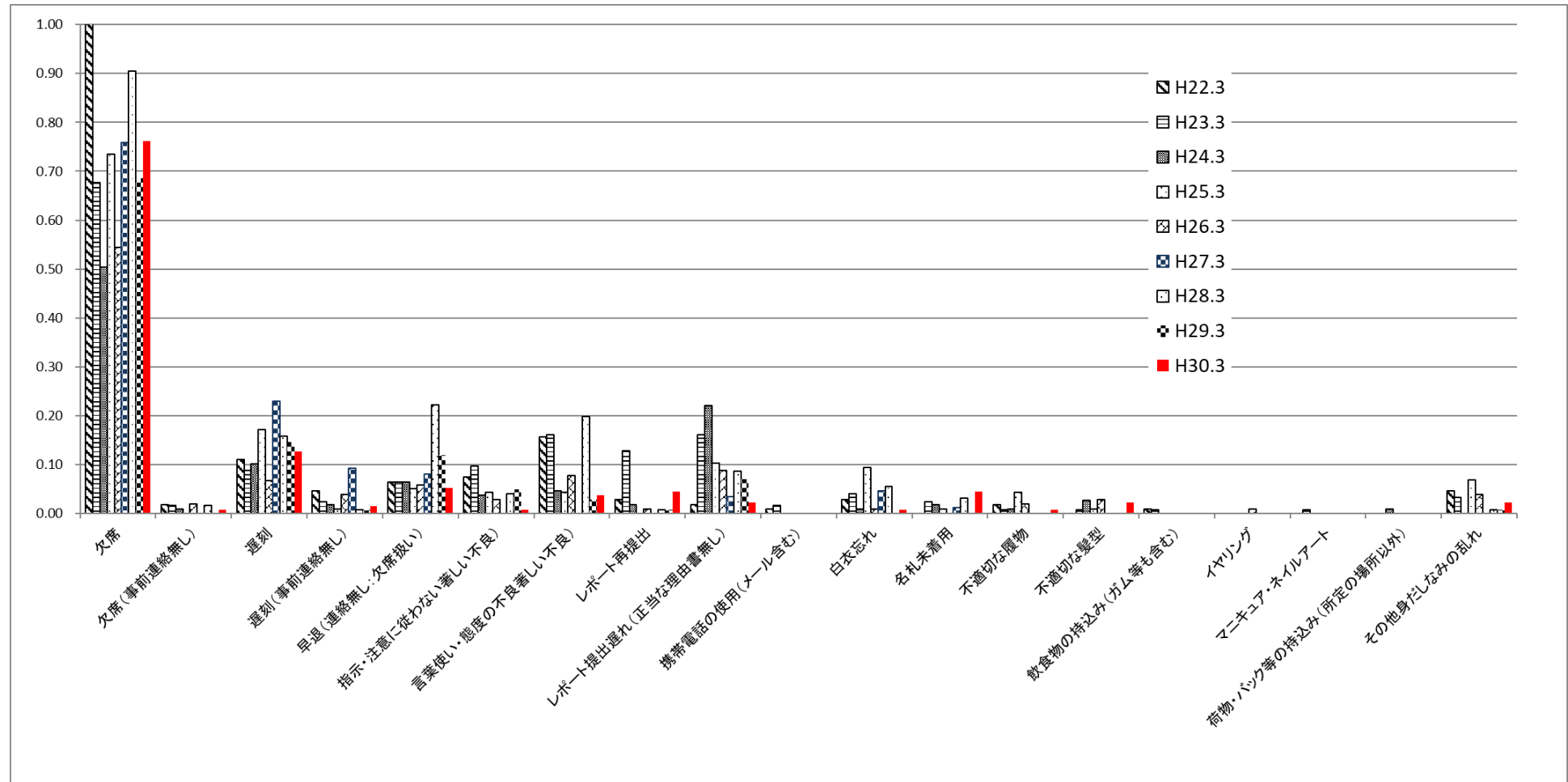
8-1 実習態度（平成30年度3期 134名）

項目	薬局				病院				合計 回数	合計 人数	総平均
	人数	回数	最大値	平均	人数	回数	最大値	平均			
欠席	17	39	5	0.67	28	63	10	0.83	102	45	0.76
欠席(事前連絡無し)					1	1	1	0.01	1	1	0.01
遅刻	6	12	5	0.21	5	5	1	0.07	17	11	0.13
遅刻(事前連絡無し)	1	1	1	0.02	1	1	1	0.01	2	2	0.01
早退(連絡無し:欠席扱い)					5	7	3	0.09	7	5	0.05
指示・注意に従わない(著しい不良: 大幅な追加減点)					1	1	1	0.01	1	1	0.01
言葉遣い・態度の不良(著しい不良: 大幅な追加減点)	1	3	3	0.05	1	2	2	0.03	5	2	0.04
レポート再提出	2	5	4	0.09	1	1	1	0.01	6	3	0.04
レポート提出遅れ(正当な理由書無 し:大幅な追加減点)	2	3	2	0.05					3	2	0.02
携帯電話の使用(メール含む)											
白衣忘れ	1	1	1	0.02					1	1	0.01
名札未着用	2	6	4	0.10					6	2	0.04
不適切な履物	1	1	1	0.02					1	1	0.01
不適切な髪型	2	3	2	0.05					3	2	0.02
飲食物の持込み(ガム等も含む)											
イヤリング											
マニキュア・ネイルアート											
荷物・バック等の持込み(所定の場所 以外)											
その他身だしなみの乱れ	2	3	2	0.05					3	2	0.02

(平均=回数/総人数)

## 8-2 実習態度推移（平成 22 年度から平成 30 年度の各 3 期の比較）

### 実習態度推移グラフ



### 8-3 減点の多い学生の詳細な成績（平成30年度3期 薬局）

薬局成績不良者（減点合計10点以上）

減点合計	欠席	遅刻	言葉遣い・ 態度の不良	レポート 再提出	レポート 提出遅れ	白衣忘れ	名札 未着用	不適切 な履物	不適切 な髪型	その他 身だしな みの乱れ	努力点	合計点
44	1	2	3				2	1	1	2	25	81
40	5	5									5	65
34				4	1	1			2		5	71
28	2	1		1	2						10	82
25	5										15	90
22	2						4				10	88
20	4										16	96
20	4										16	96
20	4										10	90
15	3										12	97
10	2										8	98

#### 8-4 減点の多い学生の詳細な成績（平成30年度3期 病院）

病院成績不良者(減点合計10点以上)

減点合計	欠席	欠席 (事前連絡 無し)	遅刻	遅刻 (事前連絡 無し)	早退 (連絡無し: 欠席扱い)	指示・注意 に従わない	言葉遣い・ 態度の不良	努力点	合計点
59	10				3			40	81
33	5	1							67
28	5				1			22	94
28	3				1	1		5	77
20	4							16	96
18	3		1						82
18	3		1						82
15	3								85
15	3								85
13	1		1	1					87
10	2								90
10	2							2	92
10							2		90
10	2								90
10	2							8	98
10	2								90

## 9. 実習中のトラブル事例（平成 30 年度 3 期）

〔中絶〕

なし

### 問題 1

〇〇薬局の〇〇です。

〇〇さんの件、実習は終了しまして、薬局としては合格でよいと考えています。

本人にも伝えてはあるのですが、今後どのような職種に就いたとしても、自分のミスの対策をすることは必須です。

今後は大学の先生方が彼に接する機会が多いでしょうから、声をかけてあげてください。

6年次の1年をかけて、少しずつでも改善できると良いと思います。

よろしく願いいたします。

### 問題 2

薬剤師の先生からきつく言われた。父親とも上手くいっていなく、自分の居場所がない。立ち直るのに時間がかかってしまう。